

# Innovator になろう！

第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会  
実行委員長 根岸 徹



Japan Radiology Congress (JRC) 2016 の大会テーマは「Instructive, Innovative, and Integrative Radiology – まなび、のばし、つなげる放射線医学–」です。会場は例年と同じパシフィコ横浜(会議センター、展示ホール、アネックスホール、ハーバーラウンジ)で開催されます。JRC は本学会(JSRT：第 72 回日本放射線技術学会総会学術大会、小倉明夫大会長)とともに日本医学放射線学会(JRS：第 75 回日本医学放射線学会総会、玉木長良会長)、日本医学物理学会(JSMP：第 111 回日本医学物理学会学術大会、荒木不次男大会長)、そして日本画像医療システム工業会(JIRA：国際医用画像総合展 2016 -ITEM2016-、小松研一会長)の 4 団体の合同企画を多く取り揃え、皆様をお待ち申し上げます。

JRC における合同企画についてご説明いたしますと、開会式の後に合同特別講演といたしまして宇宙飛行士の山崎直子先生による「Connecting Space, People and Dream to Future(宇宙・人・夢をつなぐ)」のご講演があります。山崎先生は 2010 年にスペースシャトルディスカバリーに搭乗し、国際宇宙ステーションにて活動された内容を踏まえて、宇宙からの壮大な視点を交えてご講演していただく予定になっております。

3 学術団体の合同シンポジウム 1 として「次の 25 年の放射線医学の進歩を見据えて」と題しまして、今後の放射線医学をけん引していく新進気鋭の先生方にご講演をしていただきます。合同シンポジウム 2 では「医療被ばくの線量評価と管理」といたしまして、医療被ばくに関する指定演題発表と John M. Boone 博士をお招きしてシンポジウムが開催されます。合同シンポジウム 3 において「造影剤が放射線医療にもたらした功績」といたしまして造影剤の歴史から最新のトピックスまでご講演いただきます。

次に JSRT の海外招聘講演 1 では European Federation of Radiographer Societies (EFRS) の Håkon H. Hjemly 会長をお招きしてヨーロッパにおける教育と研究の現状についてご講演していただきます。また海外招聘講演 2 では Eugenia Kulama 博士をお招きしてイギリスにおけるデジタルマンモグラフィシステムの品質管理についてご講演していただきます。さらに海外招聘講演 3 では Bram van Ginneken 博士をお招きして胸部画像の Computer-aided Diagnosis (CAD) についてご講演していただきます。

今年度は他団体との合同企画を多く企画しております。例をあげますと昨年も開催し好評であった継続企画として「科研費獲得合同セミナー」があります。今回は昨年度より時間を延長し、詳細な情報を提供できればと考えております。また JSMP-JSRT 合同特別講演として John M. Boone 博士より「New Concepts in CT Dosimetry」、Paul Keall 博士より「Integrated MRI-Linacs: A New Weapon in the Battle against Cancer」のご講演がございます。さらに JSMP-JSRT 合同特別シンポジウムとして「Current Status of Real-time Tumor Tracking Therapy」も開催いたしますのでふるってご参加いただくと幸いです。また JIRA との合同企画として JIRA ワークショップを開催いたします。テーマは「一般撮影における患者被ばく線量管理の実際」といたしまして JSRT、JIRA 双方から患者線量推定法や Exposure Index (EI)、Diagnostic Reference Levels (DRLs) といった最新の情報を発信していただく予定です。これら多くの企画を用意しておりますので、ぜひとも横浜にお越しいただき知見を広めていただくとともに、多くの会員と活発な意見交換ができることを期待しております。また業務の関係で参加できない方のために「Web 参加」の募集を行います。このシステムは大会ホームページから申し込み可能です。Web 参加を申し込みますと会期終了後に CyPos(電子ポスター)を閲覧できます。ぜひこの「Web 参加」を利用して最新の研究発表、受賞された研究発表などをご自宅や職場等からご覧ください。

最後になりますが、大会開催委員会をはじめプログラム委員会や倫理委員会といった多くの先生方と JSRT 事務局、JRC 事務局の方々のご尽力でこの大会を開催することができますことを心より感謝申し上げます。

第 72 回総会学術大会実行委員一同(小倉明夫大会長、錦成郎実行委員、木暮陽介実行委員、飯村浩実行委員、松浦由佳実行委員)、会員の皆様の参加を心からお待ち申し上げます。